

## 株式会社クレディセゾン(8253) 2016年度4-12月期決算発表

2016年度4-12月期は、「サービス先端企業」として、「Neo Finance Company in Asia」を経営ビジョンに掲げた中期経営計画の達成に向け、国内では、キャッシュレス社会の実現を目指し、あらゆる個人・法人に対して最適なソリューションの提供に取り組むとともに、海外では、アジア圏内において、日本国内で培ったノウハウを活用したリテール金融ビジネスを推進しました。

持続的成長を支える顧客基盤の拡大に向けて、タブレット端末を活用した新規カード会員の獲得強化やネット会員の増強施策に加え、「Apple Pay」など新たな決済サービスやプリペイドカードなどさまざまな決済手段の提供を通じて、カードの利用活性とキャッシュレス化を促進しました。

2016年12月には、当社会員を対象に永久不滅ポイントを利用して長期投資を擬似体験できる「ポイント運用サービス」を開始したことに加え、2017年1月からは(株)ゆうちょ銀行及び日本郵便(株)が発行を開始したプリペイドカード「mijica(ミジカ)」へ永久不滅ポイントプログラムを提供するなど、永久不滅ポイントのプラットフォームを拡充し、新たなポイント経済圏の構築に取り組みました。

信用保証事業やファイナンス事業では、多様な資金ニーズに対応したファイナンス商品を通じて、有力な提携先との連携により、良質な債権の積み上げに取り組みました。

海外事業では、ベトナム、インドネシアにおいて、現地企業との戦略的パートナーシップにより、現地アライアンスの開発やファイナンス取扱商品の拡大に取り組み、収益貢献しております。

当連結会計年度の主なセグメント別概況は次の通りです。

### 1. 営業概況

#### (1) クレジットサービス事業

**新規カード会員が前期末より 62 万人増加し、顧客基盤を拡充。ショッピング取扱高・リボルビング残高が伸長し、営業収益 1,587 億円（前期比 4.0%増）。**

- ① プレミアムカードの「セゾン・アメリカン・エクスプレス®・カード」や「三井ショッピングパークカード《セゾン》」など提携先企業と共同での会員募集の推進により、カード会員数は前期末より 62 万人増加し、2,623 万人（前期末比 2.4%増）となりました。
- ② カード利用活性プロモーションやリボルビング払いなどの訴求強化により、ショッピング取扱高は 3 兆 3,575 億円（前期比 5.2%増）、ショッピングリボルビング残高は前期末より 349 億円増加し、3,736 億円（前期末比 10.3%増）となりました。
- ③ 企業規模・ニーズに応じた最適なソリューションを提供することで企業における各種決済のキャッシュレス化を促進し、法人向けカードの取扱高は前期比 21%伸長しました。
- ④ プリペイド事業者として地位確立に努め、2016年12月より(株)パルコと新たに「PARCO プリカ」の発行を開始し、プリペイドカード総発行枚数は 3,632 万枚となりました。また、2017年1月より(株)ゆうちょ銀行および日本郵便(株)が発行する「mijica(ミジカ)」の会員管理業務全般を受託し、業務受託事業者として運営をサポートしております。
- ⑤ ネットビジネスの基盤となるネット会員の拡大に努めた結果、ネット会員は前期末より 101 万人増加し、1,352 万人（前期末比 8.1%増）となりました。
- ⑥ 2016年12月より、永久不滅ポイントを利用して気軽に長期投資の体験ができる「ポイント運用サービス」を開始し、開始から約1ヵ月で利用者が 15,000 人を超えるなど、有効期限のないポイントだからこそ実現できるサービスとして注目を集めています。
- ⑦ 海外事業では、ベトナム「HD SAISON Finance Company Ltd.」において、二輪や家電向けローンを中心に順調に取扱高を拡大するとともに「ホーチミン高島屋」へファイナンスカウンターを出店するなど、2015年5月の資本参加以降、営業拠点数、債権残高ともに約2倍に成長しております。インドネシア「PT. Saison Modern Finance」では、リース事業の拡大に取り組みました。

## (2)リース事業

既存主力提携販売店との共同キャンペーン実施や新規重点販売店への営業強化に取り組み、取扱高は812億円（前期比3.8%増）、営業収益100億円（前期比1.1%減）。

## (3)ファイナンス事業

多様な資金ニーズに対応する商品を強みに提携先との密接な連携を通じて、良質な債権の積み上げにより、営業収益227億円（前期比9.9%増）。

- ① 信用保証事業は、事業資金にも対応したフリーローン保証商品を通じて、地方銀行や信用金庫など地域金融機関とのきめ細かな連携体制の構築に努めた結果、提携先数は401先（前期差11先増）、保証残高は3,255億円（前期末比9.3%増）となりました。
- ② 長期固定金利住宅ローン「フラット35」では、前期より取扱いを開始した「セゾンのホームアシストローン（住宅購入時の諸費用ローン）」など商品ラインナップの拡充効果等により、実行金額1,044億円（前期比53.0%増）、住宅金融支援機構への債権譲渡済み残高は4,167億円（前期末比17.2%増）となりました。
- ③ 投資用不動産購入をサポートする「セゾンの資産形成ローン」は、有力な提携先との連携により、実行金額705億円（前期比90.0%増）、貸出残高は1,908億円（前期末比51.2%増）と堅調に伸長しました。

## 2. 経常利益・純利益概況

単体業績は、営業収益1,784億円（前期比4.3%増）、営業利益270億円（同48.7%増）、経常利益306億円（同47.7%増）、純利益251億円（同123.5%増）の増収増益となりました。

連結業績では、営業収益2,087億円（前期比2.2%増）、営業利益339億円（同28.1%増）、経常利益431億円（同19.1%増）、純利益は367億円（同44.2%増）の増収増益となりました。

なお、2016年度通期の業績予想につきましては、5月13日に公表しましたとおり、営業収益2,780億円、営業利益420億円、経常利益500億円、当期純利益385億円と変更はございません。

以上

### (ご参考)2016年度4-12月期 単体業績

(1)新規カード開拓枚数	:	241万枚	(前期比2.6%減)
(2)新規カード発行枚数	:	195万枚	(前期比0.3%減)
(3)カード総会員数	:	2,623万人	(前期末からの純増数62万人)
(内ネット会員数)	:	(1,352万人)	(前期末からの純増数101万人)
(4)稼働会員数	:	1,479万人	(前期末からの純増数2万人)
(5)カードショッピング取扱高	:	3兆3,575億円	(前期比5.2%増)
(6)カードショッピングリボ残高	:	3,736億円	(前期末比10.3%増)
(7)カードキャッシング取扱高	:	1,929億円	(前期比5.2%減)
(8)カードキャッシング残高	:	2,139億円	(前期末比1.2%減)
(9)営業収益	:	1,784億円	(前期比4.3%増)
(10)経常利益	:	306億円	(前期比47.7%増)
(11)純利益	:	251億円	(前期比123.5%増)